

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月 5 : /Mon.5

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111511			
科目番号 /Course Number	10160146			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	国際政治 : International Politics			
担当教員名 / Instructor(s)	/(宮脇 昇) : MIYAWAKI Noboru			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1220			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	・ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか。ロシアの侵略の誘因は何か。力と正義の観点、冷戦間期と第二次冷戦という時代の観点、アメリカ、EU、ウクライナ、ロシア、等の観点から多角的に考え、国際政治の本質をさぐる。 ・アメリカの政権交代は世界に大きな影響を与える。再び多国間主義に舵を切るアメリカは、いかに共同利益を形成するのか。米中関係、米ロ関係がその鍵となる。 ・安全保障面では、中国の台頭とアメリカのアジア回帰が厳しい状況をもたらす可能性がある。北東アジアは戦争をいかに回避するのか。 ・国際政治の過程においては、国連や OSCE などの国際機構と主権国家の関係が重要である。両者の関係は、we であるといえるだろうか。NGO や民間企業等のアクターの活躍もふまえて政策主体の理解を深める。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	国際政治とは何か
	英		
2	日	第 2 回	ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか（教科書第 1 章）
	英		
3	日	第 3 回	20 世紀の冷戦期及び 21 世紀の冷戦間期の国際政治（第 1, 2 章）
	英		
4	日	第 4 回	20 世紀の冷戦期及び 21 世紀の冷戦間期の国際政治（第 1, 2 章）
	英		
5	日	第 5 回	冷戦間期の国際政治（コソボ、テロ、イラク）（同）
	英		
6	日	第 6 回	冷戦間期の国際政治（コソボ、テロ、イラク）（同）
	英		
7	日	第 7 回	ロシアとウクライナ的外交政策（第 3 章）
	英		
8	日	第 8 回	ロシアとウクライナ的外交政策（第 3 章）
	英		
9	日	第 9 回	ロシアとウクライナ的外交政策（第 3 章）
	英		
10	日	第 10 回	ロシアとウクライナ的外交政策（第 3 章）
	英		
11	日	第 11 回	ロシアとウクライナ的外交政策（第 3 章）
	英		
12	日	第 12 回	国際法と戦争
	英		
13	日	第 13 回	国際人道法（ジュネーブ法）の展開
	英		
14	日	第 14 回	資源の武器化（教科書第 5 章）
	英		
15	日	第 15 回	戦争と社会インフラ（教科書第 6 章）
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	日々の国際ニュースをチェックしてください。 中高での世界史・政経の参考書を読み返すことも有用です。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	テキスト：宮脇昇編(2023)『ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか』早稲田大学出版部 参考書：授業内容に関連した文献をその都度紹介するが、以下に主な概説書を示しておく。 稲垣文昭・玉井良尚・宮脇昇編（2020）『資源地政学』法律文化社 庄司真理子・玉井雅隆・宮脇昇編(2021)『改訂第二版 新グローバル公共政策』

	玉井良尚(2021)『制水権』国際書院 高坂正堯 (1966/2017)『国際政治 恐怖と希望 (改版)』中央公論新社 (中公新書) 長谷川将規(2023)『アジアの経済安全保障』日本経
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	講義内容の理解状況を確認するために、小テスト及び小レポートを数回課す。詳しくは、授業で説明する。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	・各回の内容は前後することがある。初回と最終回はオンデマンドの予定 ・教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位習得に必要な学修時間を確保する計画である ・回によっては、オンラインもしくはハイブリッド授業方式とすることがある。変更の際は別途通知する。
英	